

地域と共に学ぶ在宅医療 辻伸病院柏の葉が守谷で講演

辻伸病院柏の葉は5月31日、イオンタウン守谷で「地域の方々と共に学ぶ在宅医療」をテーマに市民公開講座を開催した。40人の市民が、同院緩和ケア内科の関谷雄一医師と、筑波大学附属病院緩和ケアチームの児玉祐希子医師の講演に耳を傾けた。

関谷医師は講演で、緩和ケアだけではなく、老後の

生活全体をどうすればよいかについて触れる。柏で9回、守谷でも2回目となる講演では、がんの生存率などを説明し、健康診断での早期発見の必要性を訴えた。児玉医師は、訪問診療の現状を話し、デジタル化が進むなかで、医師だけでなく、訪問薬剤師など、チームで医療に携わっている状況を説明。ステージ3の肺がんを患っている参加者は「心配事がいっぱいあつたので参加したが、非常に参考になった」と話した。同院は秋にも市民公開講座を開催予定。



在宅医療について講演する児玉医師=守谷市